

| | | | |
|-----------------------|---|---------|---|
| 1. 科目名 (単位数) | 家族心理学 (2単位) | 3. 科目番号 | SPMP3336 EDPS3307 |
| 2. 授業担当教員 | 石 曉玲 | | |
| 4. 授業形態 | 講義および演習・ディスカッション・グループ発表 | 5. 開講学期 | 秋期 |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | 「発達心理学」・「臨床心理学」など心理や臨床系の単位を修得した後に履修することが望ましい。 | | |
| 7. 講義概要 | 人間は生涯を通じて他者との中で生きて行く。その最も身近な人間関係の中の一つに「家族」がある。本講義では、家族システム理論を始めとする家族を理解するための鍵概念を解説し、①家族のライフコースと発達、②家族内(夫婦、親子、兄弟姉妹など)の心理構造、③家族療法の概要、④家族・集団及び文化が個人に及ぼす影響について学びます。講義による解説とディスカッション・グループ発表を通じ、人が成長していくうえで重要な役割を持つ家族の心理に関して理解を深め、日常生活の場で起きている家族の諸問題を考察し、受講生にとっての家族観の再考を促すことを目的としています。 | | |
| 8. 学習目標 | 家族心理学が終了した時点で下記の目標達成をすることが期待されます。 1.家族の在り方と家族メンバーの心理的ウェルビーイングとの深い関係を理解し、説明できるようになる。 2.家族の発達とともに起こりうる諸問題について指摘できるようになる。 3.家族心理学の理論と実践の違いを理解し、説明できるようになる。 4.家族臨床の歴史と近年の主たる理論とアプローチについて、説明できるようになる。 5.家族・集団・文化が相互作用的に個人に及ぼす影響を具体的に説明できるようになる。 | | |
| 9. アサイメント(宿題)及びレポート課題 | 家族理解のための理論やキー概念を説明する力、またはそれらを用いて家族実践へつなげる応用力を培うために、課題の提出およびグループ・プレゼンテーションを求める。必要に応じて宿題も提示する。 | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | 【教科書】平木典子 中签洋子著『家族の心理—家族への理解を深めるために』サイエンス社。 【参考書】授業中で随時紹介。 | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | ○成績評価の規準 1. 家族心理学の主要な理論に関する哲学的背景・歴史的背景を理解し、家族の発達過程を説明できるか。 2. 家族療法の概念・理論を分かり易い言葉で具体的に説明ができ、問題解決法を提示することができるか。 3. 家族・集団・文化が相互作用的に個人に及ぼす影響を具体的に説明できるか。 ○評定の方法 授業への積極的参加度(ディスカッション、課題、発表)、日常の受講態度等を総合して評価する。 1 平常点(授業への積極的参加・日常の学習状況) 総合点の50% 2 まとめの課題(期末試験・課題レポート・テスト) 総合点の50% | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | 自身の家族について理解を深めめることも目指しているので、家族のことに真剣に向き合う姿勢が求められます。またグループ演習を取り入れて行うので、積極的な参加を期待しています。授業ルールや進め方は初回授業で説明します。受講者は必ず初回授業に参加してください。 | | |
| 13. オフィスアワー | 第一回目授業中に知らせる。 | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | |
| 第1回 | オリエンテーション、家族とは | 事前学習 | 教科書を通読しておく。 |
| | | 事後学習 | 家族のイメージを作る。 |
| 第2回 | 健康な家族と家族機能 | 事前学習 | 前書き～p.26を読み、重要だと思うところ、疑問に感じたところにマーカーを引いておく。 |
| | | 事後学習 | 家族機能と円環モデルを理解できるように復習しまとめる。 |
| 第3回 | 家族システム理論 | 事前学習 | pp.99～104を読み、重要だと思うところ、疑問に感じたところにマーカーを引いておく。 |
| | | 事後学習 | 家族システム理論の概要、いくつかのキー概念を理解できるように復習しまとめる。 |
| 第4回 | 家族システム論の観点からみた家族の発達 | 事前学習 | pp.104～111を読み、重要だと思うところ、疑問に感じたところにマーカーを引いておく。 |
| | | 事後学習 | 家族の発達を理解し、ジェノグラムの書き方をできるようにする。 |
| 第5回 | 家族作りの準備Ⅰ 青年期の発達 | 事前学習 | pp.35～51を読み、重要だと思うところ、疑問に感じたところにマーカーを引いておく。 |
| | | 事後学習 | 青年期の発達課題を理解できるようにする。 |
| 第6回 | 家族作りの準備Ⅱ 恋愛と結婚 | 事前学習 | pp.51～55、62～64を読み、重要だと思うところ、疑問に感じたところにマーカーを引いておく。 |
| | | 事後学習 | 親密性、結婚前の準備について理解する。 |
| 第7回 | 夫婦の発達Ⅰ 新婚期の発達 | 事前学習 | pp.57～62を読み、重要だと思うところ、疑問に感じたところにマーカーを引いておく。 |
| | | 事後学習 | 新婚期の発達課題を理解する。 |

| | | | |
|------|---------------------|------|--|
| 第8回 | 夫婦の発達Ⅱ 夫婦関係の発達 | 事前学習 | pp.64～76を読み、重要だと思うところ、疑問に感じたところにマーカーを引いておく。 |
| | | 事後学習 | 夫婦間コミュニケーションの重要性について理解する。 |
| 第9回 | 育児期の発達Ⅰ 親としての発達 | 事前学習 | pp.79～84を読み、重要だと思うところ、疑問に感じたところにマーカーを引いておく。 |
| | | 事後学習 | 「親になること」の意味と必要なスキルを理解する。 |
| 第10回 | 育児期の発達Ⅱ 育児期の家族発達の課題 | 事前学習 | pp.86～94を読み、重要だと思うところ、疑問に感じたところにマーカーを引いておく。 |
| | | 事後学習 | 育児期の発達課題を理解する。 |
| 第11回 | 中年期・老年期の家族の発達 | 事前学習 | p.19,pp.94～96の関連部分を読み、重要だと思うところ、疑問に感じたところにマーカーを引いておく。 |
| | | 事後学習 | 親子関係の変化、子どもの巣立ち後の夫婦関係の再編成、家族のケア機能を理解する。 |
| 第12回 | 文化の中での家族発達のかたち | 事前学習 | 文化の中での家族の発達という視点から、一つの文献を調べ印刷して持参する。調べてきた文献の主な内容を説明できるように準備する。 |
| | | 事後学習 | 「文化と家族」について考察する。 |
| 第13回 | 家族臨床の実際 | 事前学習 | pp.125～156を読み、重要だと思うところ、疑問に感じたところにマーカーを引いておく。 |
| | | 事後学習 | 家族臨床とその概要を知る、家族療法の歴史・考え方、技法を理解する。 |
| 第14回 | グループ・プレゼンテーション | 事前学習 | グループ・プレゼンテーションの準備 |
| | | 事後学習 | 学んだ点、改善点をまとめる。 |
| 第15回 | 全体のまとめ | 事前学習 | いままでの内容を総復習し、まとめる。 |
| | | 事後学習 | 現代家族の意味、家族の本質を考察する。 |